

# 目黒区立第八中学校 70周年記念理科特別講演会

2010年6月、小惑星探査機「はやぶさ」が幾多の困難を乗り越えて使命を遂行し、地球に無事帰還したニュースは世界中を感動させました。「はやぶさ」から勇気や希望をもらった人もたくさんいたことと思います。

開校70周年を迎え、記念行事の一つとして「はやぶさ」プロジェクトマネージャを務めた川口淳一郎教授をお迎えし、下記のとおり講演会を開催することとなりました。なかなか聴くことのできない貴重な講演会です。たくさんの方々の参加をお待ちしております。

なお、今回の講演会にはお隣のトキワ松学園中学校の生徒さんたちをご招待しております。みんなで「はやぶさ」からたくさんの方のことを学びましょう。

## 記

- 1 日時、場所 11月30日(木) 午後1時40分 本校体育館
- 2 講演 「はやぶさ」プロジェクトから学ぶこと
- 3 講師 川口 淳一郎 教授  
国立研究開発法人宇宙航空研究開発機構  
シニアフェロー  
宇宙科学研究所 宇宙飛行工学研究系 教授

※ 途中からの入場はお断りすることがあります。1時30分には入場、着席ください。

## 【川口淳一郎教授 経歴】

宇宙工学者、工学博士。1978年 京都大学工学部卒業後、東京大学大学院工学系研究科航空学専攻博士課程を修了し、旧文部省宇宙科学研究所に助手として着任、2000年に教授に就任。

2007年4月から2011年9月まで、月惑星探査プログラムグループプログラムディレクター(JSPEC/JAXA)、1996年から2011年9月まで、「はやぶさ」プロジェクトマネージャを務める。

現在、国立研究開発法人宇宙航空研究開発機構宇宙科学研究所(ISAS/JAXA) 宇宙飛行工学研究系教授、2011年8月より、シニアフェローを務める。

ハレー彗星探査機「さきがけ」、工学実験衛星「ひてん」、火星探査機「のぞみ」などのミッションに携わり、小惑星探査機「はやぶさ」では、プロジェクトマネージャを務めていた。

著書：

- 『人工衛星と宇宙探査機』(コロナ社)
- 『航空宇宙における制御』(コロナ社)
- 『ビークル』計測・制御テクノロジーシリーズ(コロナ社)
- 『はやぶさ、そうまでして君は～生みの親がはじめて明かすプロジェクト秘話』(宝島社)
- カラー版『小惑星探査機はやぶさ ―「玉手箱」は開かれた』(中公新書)
- 『「はやぶさ」式思考法 日本を復活させる24の提言』(飛鳥新社)
- 『閃く脳の作り方 飛躍を起こすのに必要な11のこと』(飛鳥新社)

